

## 学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立熊谷工業高等学校		Cグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	専門学科の趣旨や特性を踏まえ、学校として目指す方向が簡潔に示されている学校像である。学校の現状や課題などをより広く把握・分析し、具体的かつ魅力あるものとなるよう工夫できると更に良い。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	目指す学校像を踏まえ、学校の取り組むべき方向が四つの柱として設定されている。生徒・学校関係者や教職員などの意見や要望等を踏まえて中期的な視点から目標を設定することが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校評議員・学校評価懇話会の意見をまとめて、教職員に伝えている。学校自己評価システムが十分に機能するように、組織間の連携を強化し、教職員全体や学校関係者が参画するように更に工夫していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	専門知識と技術の確実な取得に向けて様々な方策が実施され、具体的な成果も上がっている。分掌・学年等のシートは作成されているが、学校全体の目標と連鎖させて更に組織的に課題の解決に取り組めるようにすることが望まれる。	
	校長的的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	教職員一人一人の能力を生かして組織力を高めようとしている校長の意欲が感じられる。校長が的確にリーダーシップを発揮し、分掌・学年・教科などが学校全体の目標に基づいて、適切に連携して全校を挙げて取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	アンケートなどを実施し、学校自己評価のための情報が収集されている。課題や次年度への改善策を明らかにするために必要なデータとなるよう各種アンケートの工夫を進め、更に学校関係者の意見やアンケートの結果等を分析して、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていただきたい。	
特記事項			